

平成28年度第1回香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会

(目次)

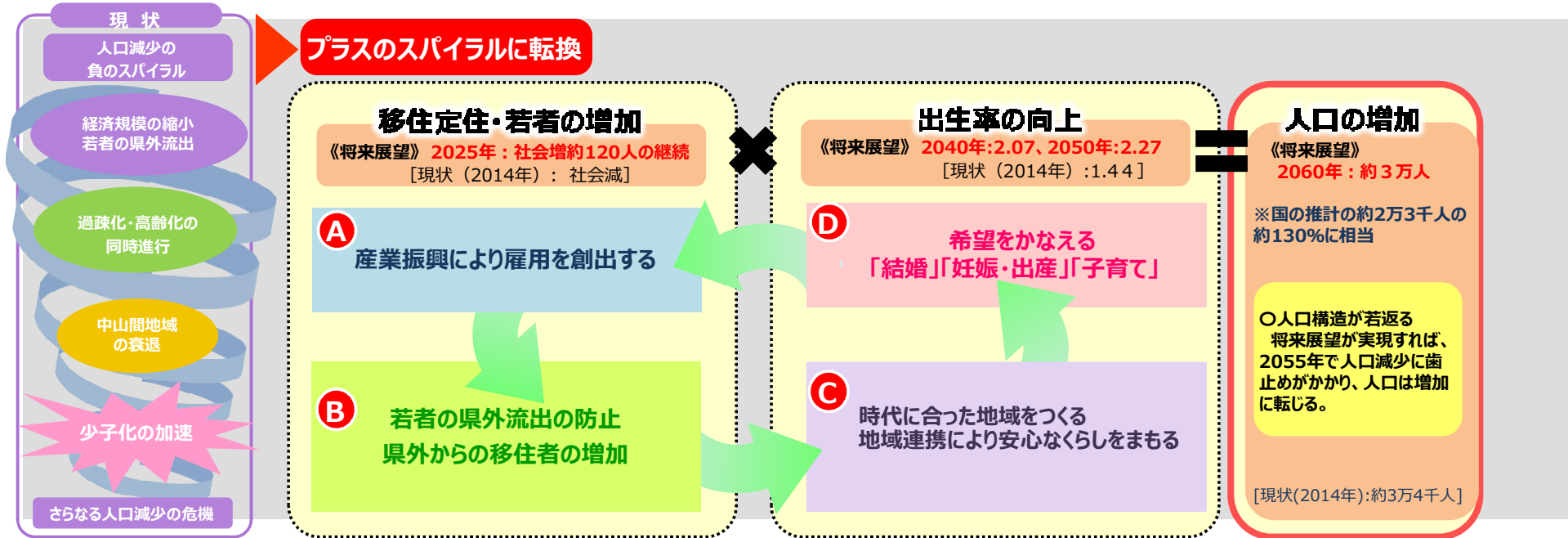
- 全体像、構成 資料1
- 進捗状況シート 資料2(1~10)
- 具体的な施策例 資料3

平成28年7月1日開催

2016
pickup

香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略<平成28年度版>の全体像

資料1



PDCAサイクルにより取り組み検証、施策をバージョンアップ

基本目標1 魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する

- A**
- 足腰を強め、「地力」を高める
 - 新たな産業づくりに挑戦する
 - 分野を超えた産業間の連携を強化する

数値目標

- ・新規農業者数 H31：10人/年
- ・各産業分野における産出額等の増加
- 観光施設入込客数 H31：100万人以上

これまでの成果

- ・物部川地域アクションプラン
- エメラルドメロンの販売力向上対策、シラ等の加工商材活用、広域観光取組推進等
- ・香南工業団地

産業振興計画により推進

基本目標3 若い世代の「結婚」「妊娠・出産」「子育て」の希望をかなえる

- D**
- 人生をトータルでサポートする体制づくり
 - 子ども子育て支援・環境の充実支援

数値目標

- ・合計特殊出生率 H31：1.60
- ・婚姻件数 H31：154件
- (人口動態調査)

【目標達成に向けたH31のKPIの設定例】

- ・出会いの場の開催回数 3回
- ・学校支援地域本部設置数 8校
- ・地域子育て支援センター利用者数 7,000人
- ・児童クラブの利用者数 385人

基本目標2 新しい人の流れをつくる

- B**
- 移住・定住促進のためのしくみづくり
 - ウェルカム移住・定住促進事業スタート

数値目標

- ・社会増減 H31社会増を目指す
- ・県外からの移住者数 H31年間20組以上

【移住・定住促進のためのしくみづくりH31のKPIの設定例】

- ・移住促進ホームページのアクセス回数 2,000回
- ・若年層交流会参加者人数 60人
- ・集落活動センター設置数 2箇所
- ・空き家登録数 10棟

人生支援計画により推進

基本目標4 時代に合った地域をつくり、地域の連携により安心なくらしをまもる

- C**
- 協働のまちづくり推進
 - 災害に強いまちづくり
 - 交流人口拡大
 - 大学との連携

数値目標

- ・自治会、協議会結成率 H31：100%
- ・自主防災組織結成率 H31：100%

これまでの成果

- ・香南市地域活性化総合補助金事業
- ・集落活動センター推進事業
- ・住宅耐震化促進事業、香南市総合防災訓練

香南市 まち・ひと・しごと創生総合戦略の構成

資料1

1. 香南市の現状と目指すべき方向

(1) 香南市の現状

- 人口動態の現状と分析 → 人口減少時代へ突入

(2) 目指すべき方向

- 人口の将来展望(2060年)の見通し 約3万人
- 目指す姿 → 次世代を担う若者が、地域で誇りと希望を持ち、安心して暮らし働ける香南市

2. 総合戦略の位置づけと基本的な考え方

(1) 総合戦略の位置づけ

- 香南市が目指す将来像(ランドデザイン、産業振興計画、人生支援計画)を確実に実行、実現していくための取り組み
- 人口減少に歯止めをかける

(2) 地方創生に向けた本市の基本的な考え方

- 【基本目標1】魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する
- 【基本目標2】新しいひとの流れをつくる
- 【基本目標3】若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 【基本目標4】時代に合った地域をつくり、地域の連携により安心なくらしをまもる

(3) 総合戦略の計画期間

- 平成27年度から平成31年度の5年間

3. 総合戦略の効果的な推進

(1) 総合戦略の策定に当たっての基本方針

- 策定プロセス
 - ・住民・産官学金言等の参画と推進組織
- 総合戦略の構成
 - ・国、県の総合戦略の勘案
- 数値目標・重要業績評価指標(KPI)の設定
 - ・アウトカム(成果)を重視した数値目標
 - ・客観的なデータに基づいた設定
- 国の政策5原則の視点
 - ・自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視を踏まえた施策の推進

(2) 進捗管理体制とPDCAサイクルによる視点

- 「香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部(庁議メンバー)」と外部委員で構成する「香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会(住民産官学金言)」において策定を行い、点検・検証、必要に応じて施策見直しを行う
- PDCAサイクルにおける視点
 - ・年度毎取り組み状況を点検・検証を行う
 - ・必要な対策の追加、見直しを行う

※PLAN(計画)、DO(実施)、CHECK(評価)、ACTION(改善)の4つの視点をプロセスの中に取り込むことで継続的な改善を推進する。

4. 基本目標と基本的方向

それぞれの施策で*KPIを設定

《基本目標と基本的方向》

香南市産業振興計画

【基本目標1】魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する

【数値目標】・各分野の出荷額等の増加

- 「地方」の強化、「新たな産業づくり」への挑戦、「分野を超えた産業間の連携」の推進による雇用の創出

【基本的方向】

- ① 足腰を強め、「地方」を高める
 - ・農業、林業、水産業の振興による一次産品の安定生産
 - ・農業、水産業における加工、流通、販売体制の強化
- ② 新たな産業づくりに挑戦する
 - ・商工業の振興
 - ・6次産業化による新産業の創出
 - ・観光のまちの育成
- ③ 分野を超えた産業間の連携を強化する
 - ・6次産業化による地産地商の徹底(人々の暮らしを支える産業)
 - ・観光拠点形成とネットワーク構築
 - ・産業人材の育成・確保

【基本目標2】新しい人の流れをつくる

香南市人生支援計画

【数値目標】・人口の社会増減・移住者数

- 「移住・定住促進」しくみづくり

【基本的方向】

- ① 移住・定住促進のためのしくみづくり
- ・移住、定住促進

【基本目標3】若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【数値目標】・合計特殊出生率・婚姻件数

- 「人生をトータルでサポート」することによる全世代を通じた支援

【基本的方向】

- ① 人生をトータルでサポートする体制づくり
 - ・人生支援
- ② 子ども、子育て支援・環境の充実支援
 - ・子ども、子育て支援

【基本目標4】時代に合った地域をつくり、地域の連携により安心なくらしをまもる

【数値目標】・自治会、協議会結成率・自主防災組織結成率

- 小さな拠点整備、「防災性」向上

【基本的方向】

- ① 協働のまちづくりの推進
- ② 災害に強いまちづくり
- ③ 交流人口拡大
- ④ 大学との連携

《具体的な施策》

【足腰を強め、「地方」を高める】

- 1) 農業の振興
 - ① 農業生産基盤の充実
 - ② 治水・利水整備の促進
 - ③ 担い手対策の促進
 - ④ 農産物ブランド化の推進と加工品の開発
 - ⑤ 消費者の安全安心志向への対応
 - ⑥ 中山間農地の保全と活用の促進
- 2) 林業の振興
 - ① 森林の多面的な利活用の促進
 - ② 森林の活用(木質バイオマス利用促進)
- 3) 水産業の振興
 - ① 漁港の改修・整備等の推進
 - ② 漁業経営の基盤強化
 - ③ 漁場の保全
 - ④ 観光漁業の推進
 - ⑤ 水産加工品流通販売の推進
- 4) 農業・水産業における加工・流通・販売体制の強化
 - ① 地産地消の推進
 - ② 加工・流通・販売などの体制を強化

【新たな産業づくりに挑戦する】

- 1) 商工業の振興
 - ① 企業誘致の促進
 - ② 既存企業の育成・支援
 - ③ 魅力ある商業地・商店街づくり
 - ④ 空き店舗の活用
 - ⑤ 新規企業の育成支援

【移住・定住促進のためのしくみづくり】

- ① 「香南市を知って、好きになってもらう」魅力、多様な情報の発信
- ② 若年層の交流・情報交換やイベント開催
- ③ 産官学連携、人材育成による暮らしと産業が調和した自立地域への支援
- ④ 移住促進

【人生をトータルでサポートする体制づくり】

- ① ライフステージに応じた切れ目ない支援
- ② 若者の出会いの場づくり

【子ども、子育て支援・環境の充実支援】

- ① 子育てを支える地域の育成
- ② 子育て施策の充実
- ③ 多様な保育事業・放課後児童クラブの拡充

【協働のまちづくりの推進】

- ① 住民組織との情報交換
- ② 地域活動の支援体制強化

【災害に強いまちづくり】

- ① 耐震化の促進、災害時備蓄品整備の充実
- ② 自主防災組織の設立・活性化
- ③ 災害時における地域の支え合いづくり
- ④ 消防・防災対策の強化

国の地方創生
関連交付金活用

地方創生先行型交付金関連事業

地方創生加速化交付金関連事業

- 2) 6次産業化による新産業の創出
 - ① 魅力ある新商品の開発

- 3) 観光のまちの育成

- ① 観光・交流の拠点の場づくりと市民参加
- ② 情報発信手段の効果的な活用
- ③ 地域に親しむ観光の促進
- ④ 活性化に向けたあらゆる産業との連携強化

【分野を超えた産業間の連携を強化する】

- 1) 6次産業化による地産地商の徹底
 - ① 地産地商の拠点(直売所)の機能拡充
 - ② 地域内での創意工夫によるコミュニティビジネスの支援
- 2) 観光拠点形成とネットワーク構築
 - ① 資源の再発見(価値化・付加価値化)
 - ② 観光・交流の場づくり(地域住民参加)
 - ③ 観光旅行会社(企画)とのタイアップによる複数観光ルートの構築
 - ④ 物部川流域3市での観光振興
- 3) 産業人材の育成・確保
 - ① 雇用支援、企業支援のための情報発信、情報入手の場(拠点)の整備

- pickup
- ・産業人材育成事業費
 - ・未来人材育成奨学金支援事業

- pickup
- ・香南市ウエルカム移住・定住促進事業
 - ・香南市恋い、めぐりあい応援事業

- pickup
- ファミリー・サポート・センター事業

- 【交流人口拡大】
- ① 集落活動センター(小さな拠点整備)
 - ② 地域団体の活動促進、支援充実
 - ③ 歴史・食・体験等による交流人口の拡大

- 【大学との連携】
- ① 大学との連携

- pickup
- 高知大学出前公開講座事業

基本目標 1：魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する	基本的方向：①足腰を強め「地力」を高める	数値目標：新規農業者数 H26：7 人／年→H31：10 人／年
---------------------------------	----------------------	----------------------------------

【概要・目的】 〇農業の分野では、担い手の確保、生産基盤強化により、一次産品の安定生産の体制づくり、生産量増加、市の総生産額の増加へとつなげていきます。

〈第 1 回策定委員会イメージ〉

平成 27 年度取り組みの成果等

成 果（KPI の数値化）

1) 農業の振興

* (H26 現状維持)
H27 実績

*累計 H27～H31
H31 年度

① 農業生産基盤の充実
・事業計画箇所進捗率

21.9%

100%

② 治水・利水整備の促進
・事業計画箇所進捗率
・農業集落排水の加入率

87%
59.9%

100%
62%

③ 担い手対策の促進
・施設園芸ハウス整備面積
・環境制御技術導入農家数

5,592 m²
34 戸

52,500 m²*
160 戸*

④ 農産物ブランド化の推進と加工品の開発
・エメラルドメロン販売額
・ニラ販売額

406,113 千円
1,100,247 千円

450,000 千円
1,360,000 千円

⑤ 消費者の安全安心志向への対応
・学校給食への市内野菜の使用率
・市内施設への供給先の確保

36%
0 箇所

30%
1 箇所

※地方創生先行型交付金指標

・給食センターへの納品量	指標値	6 t	実績値	9t
・にんじん、白菜の新規作付け	指標値	1 反	実績値	0

⑥ 中山間農地の保全と活用の促進
・有害鳥獣捕獲数

566 頭羽

2,000 頭羽*

到達点の達成状況

(数値目標)
新規農業者数
H26：7 人／年 → H27：17 人／年 → H31：10 人／年

〈第 1 回策定委員会イメージ〉

平成 27 年度取り組み状況

課題等

1) 農業の振興

① 農業生産基盤の充実
・事業全般、要望金額よりかなり減額されており事業計画が延伸している。

② 治水・利水整備の促進
・要望の箇所の同意に難航している。
・加入率が低い、設備も老朽化しており公共下水道との統合を検討している。

③ 担い手対策の促進
・新規就農者の補助率について検討必要。
・概ね順調に推移している。

④ 農産物ブランド化の推進と加工品の開発
・炭酸ガス濃度等ハウス環境と生育データを集積し、栽培管理を検討し収量、品質の向上を図る。
・日本一のニラ産地の維持・拡大に向けた仕組みの構築を目指す。

⑤ 消費者の安全安心志向への対応
・給食で使用する野菜の中で、香南市内での栽培が少ないため収穫量の確保が必要。
・市内野菜の使用率が拡大するように栽培から保存方法までを検証し取り組む。

⑥ 中山間農地の保全と活用の促進
・関係機関と協力し、事業活用出来るよう周知を行う。

〈第 3 回策定委員会イメージ〉

平成 28 年度取り組み状況確認

取り組み状況

課 題

〈第 2 回策定委員会イメージ〉

平成 28 年度取り組み状況、今後の取り組み（予定）

1) 農業の振興

① 農業生産基盤の充実

② 治水・利水整備の促進

③ 担い手対策の促進

④ 農産物ブランド化の推進と加工品の開発

⑤ 消費者の安全安心志向への対応

⑥ 中山間農地の保全と活用の促進

施策の追加等

〈第 3 回策定委員会イメージ〉

平成 29 年度に向けた取り組み

施策の追加等

課 題

【数値目標（平成 31 年度末）】

新規農業者数 H26：7 人／年→H31：10 人／年

※基本目標における数値目標は、各施策の KPI が達成されることによって実現されるアウトカム目標であるため、数値目標と KPI は基本的に同一ではない。

【直近の成果（アウトカム等）】

(数値目標)
新規農業者数 H27：17 人／年→H28： 人／年

【実現見込み】

・

基本目標 1：魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する

基本的方向： ①足腰を強め「地力」を高める

数値目標：森林境界明確化面積 H26：188ha→H31：600ha 以上

【概要・目的】 ○生産性向上と森林の保全・活用に加えて、森林資源を活用した所得の向上と雇用の創出を図ります。

〈第 1 回策定委員会イメージ〉

平成 27 年度取り組みの成果等

成 果 (KPI の数値化)

2) 林業の振興

*(H26 現状維持)

*累計 H27～H31

① 森林の多面的な利活用の促進
・搬出、切捨間伐 作業道

H27 実績

20ha 1,880m

H31 年度

250ha13,500m*

② 森林の活用(木質バイオマス利用促進)
・農業ハウス用ペレットボイラー数

*2 基

2 基

到達点の達成状況

(数値目標)

森林境界明確化面積

H26： 188ha → H27： 97.4ha → H31： 600ha 以上*

〈第 1 回策定委員会イメージ〉

平成 27 年度取り組み状況

課題等

2) 林業の振興

① 森林の多面的な利活用の促進

・計画どおり進めているが、同意が得られず規模が縮小となったため、事業を理解してもらい同意者を増やしていく対策が必要。

② 森林の活用(木質バイオマス利用促進)

・現在まで問題なく利用しているが、今後は耐用年数の問題もあり利用者との協議が必要。

〈第 2 回策定委員会イメージ〉

平成 28 年度取り組み状況、今後の取り組み(予定)

2) 林業の振興

① 森林の多面的な利活用の促進

② 森林の活用(木質バイオマス利用促進)

施策の追加等

〈第 3 回策定委員会イメージ〉

平成 29 年度に向けた取り組み

施策の追加等

課 題

【数値目標(平成 31 年度末)】

森林境界明確化面積 H26：188ha→H31：600ha 以上

※基本目標における数値目標は、各施策の KPI が達成されることによって実現されるアウトカム目標であるため、数値目標と KPI は基本的に同一ではない。

【直近の成果(アウトカム等)】

(数値目標)

森林境界明確化面積 H27： 97.4 ha→H28： ha

【実現見込み】

基本目標 1：魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する

基本的方向： ①足腰を強め「地力」を高める

数値目標：沿岸漁業総生産量
H26：1, 313 ト→H31：1, 200 ト以上維持

【概要・目的】 ○生産基盤充実や後継者育成支援、観光産業との連携を推進し、資源回復と経営力の強化により稼げる水産業を目指します。
○農業・水産業における加工、流通、販売体制を強化するために、水産加工品の付加価値向上を図り、農業、水産業における加工・流通・販売体制を強化、香南市ブランドの展開や販路拡大を図ります。

〈第 1 回策定委員会イメージ〉 平成 27 年度の取り組みの成果等		
成 果 （KPI の数値化）		
（3）水産業の振興	* (H26 現状維持) H27 実績	*累計 H27～H31 H31 年度
①漁港の改修・整備等の推進 ・漁港施設の保全、改修整備率	25%	43%
②漁業経営の基盤強化 ・水産機能施設件数	6 件	12 件
③ 漁場の保全 ・除去地区の海藻類育成被度	44% (被度 100%)	70%
④ 観光漁業の推進 ・地引き網漁業経営体の維持	*1 経営体	1 経営体
⑤ 水産加工品流通販売の推進 ・手結加工場の販売金額	2, 299 万円	1, 500 万円
（4）農業・水産業における加工・流通・販売体制の強化		
① 地産地消の推進 ・手結加工場による給食センター への納入回数	19 回	11 回
② 加工・流通・販売などの体制を強化 ・手結加工場の雇用人数	*2 人	4 人
到達点の達成状況 (数値目標) 沿岸漁業総生産量 H26：1, 313 ト → H27： 1, 086 ト → H31：1, 200 ト以上維持		

〈第 1 回策定委員会イメージ〉 平成 27 年度取り組み状況	
課題等	
（3）水産業の振興	
① 漁港の改修・整備等の推進 ・漁港施設の保全、長寿命化の推進を図る	
② 漁業経営の基盤強化 ・漁業用施設の機能保持のための継続的な改修、整備の実施	
③ 漁場の保全 ・効果的な保全活動ができる組織の確立 ・掃海事業の効果的な実施を図るための実施時期や作業方法の再検討	
④ 観光漁業の推進 ・地引き網や釣り船等多角的な漁業経営の支援 ・観光、農業等関係機関との連携	
⑤ 水産加工品流通販売の推進 ・水産物ブランドの確立	
（4）農業・水産業における加工・流通・販売体制の強化	
① 地産地消の推進 ・食育活動の拡充	
② 加工・流通・販売などの体制を強化 ・市外への販路拡大	
〈第 3 回策定委員会イメージ〉 平成 28 年度取り組み状況確認	
取り組み状況	
課 題	

〈第 2 回策定委員会イメージ〉 平成 28 年度取り組み状況、今後の取り組み（予定）	
施策の追加等	
（3）水産業の振興	
① 漁港の改修・整備等の推進	
② 漁業経営の基盤強化	
③ 漁場の保全	
④ 観光漁業の推進	
⑤ 水産加工品流通販売の推進	
施策の追加等	
（4）農業・水産業における加工・流通・販売体制の強化	
① 地産地消の推進	
② 加工・流通・販売などの体制を強化	
施策の追加等	
〈第 3 回策定委員会イメージ〉 平成 29 年度に向けた取り組み	
施策の追加等	

【数値目標（平成 31 年度末）】

沿岸漁業総生産量 H26：1, 313 ト→H31：1, 200 ト以上維持
※基本目標における数値目標は、各施策の KPI が達成されることによって実現されるアウトカム目標であるため、数値目標と KPI は基本的に同一ではない。

【直近の成果（アウトカム等）】

(数値目標)
沿岸漁業総生産量 H27：1, 086 ト→H28： ト

【実現見込み】

・

基本目標 1：魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する	基本的方向：（2）新たな産業づくりに挑戦する	数値目標：製造品出荷額　H26：407 億円→H31：500 億円以上
---------------------------------	------------------------	-------------------------------------

【概要・目的】　○商工業の分野では、既存企業への育成支援、地場産業や観光施設との連携により、魅力ある商業地・商店街づくりを推進するなど、ものづくりからの雇用拡大と地域の賑わいを創出します。

　○6次産業化による新産業の創出では、生産者が付加価値を生み、産業を活性できる仕組みづくり、及び関係機関と連携し、補助事業の活用等を含めて支援していきます。



基本目標 1：魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する

基本的方向：（2）新たな産業づくりに挑戦する

数値目標：観光施設入込客数 H26:93 万人→H31:100 万人以上

【概要・目的】 ○観光のまちの育成では、観光地や施設を訪れた人が地域交流を楽しむ機会づくりや受入体制の充実、また、安心して楽しむための整備を推進するとともに、地域の情報発信力強化に取り組みます。

〈第 1 回策定委員会イメージ〉

平成 27 年度の取り組みの成果等

成 果（KPI の数値化）

3)観光のまちの育成	＊(H26 現状維持) H27 実績	＊累計 H27～H31 H31 年度
① 観光・交流の拠点の場づくりと市民参加 ・物部川フェスタの集客数	約 5, 000 人	5, 000 人
② 情報発信手段の効果的な活用 ・観光案内板設置数 ・無料 Wi-Fi 設置数	1 件 0 件	5 件 6 件
③ 地域に親しむ観光の促進 ・ボランティアガイド（案内人）数 ・ウォーキングコース数 ・サイクリングコース数	*10 人 4 コース 0 コース	37 人 5 コース 6 コース
※地方創生先行型交付金指標		
・ウォーキング大会参加者	指標値 250 人	実績値 159 人
④ 活性化に向けたあらゆる産業との連携強化 ・「まるごと旨市」への参加事業所数	2 事業所増 (計 35 事業所)	37 事業所

到達点の達成状況

(数値目標)

観光施設入込客数

H26:93 万人 →H27:100. 3 万人 →H31:100 万人以上

※対象施設 のいち動物公園、月見山子どもの森、ヤ・シィパーク、絵金蔵、香南市サイクリングターミナル（宿泊以外）、天然色市場、やすらぎ市、あぐりの里、アクトランド、黒潮温泉、土佐カントリークラブ

〈第 1 回策定委員会イメージ〉

平成 27 年度取り組み状況

課題等

3)観光のまちの育成

- ① 観光・交流の拠点の場づくりと市民参加
 - ・3 市の「食」をテーマに広く地域住民が交流し、県内外に向けて魅力ある特産品の紹介や 3 市の PR を行い、物部川地域の広域観光につなげる。
- ② 情報発信手段の効果的な活用
 - ・のいち駅に設置している観光案内板を 5 カ国語表記にリニューアルした。
 - ・今後も多言語化を推進していく。
 - ・観光客が無料で利用可能な Wi-Fi 環境を整備し、外国人観光客の満足度を高める。(のいち駅、絵金蔵、弁天座、サイクリングターミナル、ヤ・シィパーク、天然色市場)
- ③ 地域に親しむ観光の促進
 - ・勉強会や研修を実施してガイドの育成を行う
 - ・コンセプトを持ったコース設定（食・歴史・景観等）
 - ・県及び関係市町村との連携
 - ・サイクリング拠点の洗い出し
- ④ 活性化に向けたあらゆる産業との連携強化
 - ・ふるさと応援寄附金事業とタイアップし、販売額増加につなげる。

〈第 3 回策定委員会イメージ〉

平成 28 年度取り組み状況確認

取り組み状況

課 題

〈第 2 回策定委員会イメージ〉

平成 28 年度取り組み状況、今後の取り組み（予定）

3)観光のまちの育成

- ① 観光・交流の拠点の場づくりと市民参加
- ② 情報発信手段の効果的な活用
- ③ 地域に親しむ観光の促進
- ④ 活性化に向けたあらゆる産業との連携強化

施策の追加等

〈第 3 回策定委員会イメージ〉

平成 29 年度に向けた取り組み

施策の追加等

課 題

【数値目標（平成 31 年度末）】

観光施設入込客数 H26:93 万人→H31:100 万人

※基本目標における数値目標は、各施策の KPI が達成されることによって実現されるアウトカム目標であるため、数値目標と KPI は基本的に同一ではない。

【直近の成果（アウトカム等）】

(数値目標)
観光施設入込客数 H27:100. 3 万人→H28: 万人

【実現見込み】

.

基本目標 1：魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する

基本的方向：（3）分野を超えた産業間の連携を強化する

数値目標:観光施設入込客数 H26:93 万人→H31:100 万人以上

- 【概要・目的】
- 6次産業化による地産地商の徹底では、生産物の出荷価格の維持、付加価値化による生産物の出荷価格の安定。食糧の安定供給、地場製品の生産の維持・継続を図ります。
- 観光拠点形成とネットワーク構築では、地域資源の再発見を進めるとともに、各観光施設・交流拠点のネットワーク化を図り、観光資源を点から面へと一体化した情報提供や、観光協会などの支援を促進します。
- 産業人材の育成・確保では、ハローワークや企業など、さまざまな分野との連携を強化し、就労機会の拡大に努めるとともに、県と連携し産業振興等につながる人材育成の実施を支援していきます。

〈第1回策定委員会イメージ〉

平成 27 年度取り組みの成果等

成 果（KPI の数値化）

- 1)6次産業化による地産地商の徹底
- * (H26 現状維持)

H27 実績

*累計 H27～H31

H31 年度
- ① 地産地商の拠点(直売所)の機能拡充

・やすらぎ市、あぐりの里、天然色市場の集客数

292, 672 人

300, 000 人
- ② 地域内での創意工夫によるコミュニティビジネスの支援

・特産品の開発数

*2 件

4 件
- 2)観光拠点形成とネットワーク構築
- ① 資源の再発見(価値化・付加価値化)

・新たな観光拠点

0 箇所

1 箇所
- ② 観光・交流の場づくり(地域住民参加)

・イベント集客数

63, 000 人

60, 000 人

【・どろめ祭り：9,000 人・絵金まつり：18,000 人
・みなこい港まつり：24,000 人・冬の夏祭り：12,000 人】
- ③ 観光旅行会社(企画)とのタイアップによる複数観光ルートの構築

・年間プロモーション活動

3 回

6 回
- ④ 物部川流域 3 市での観光振興

・観光周遊活性化モデルの構築

新規

モデル構築
- 3)産業人材の育成・確保
- ① 雇用支援、企業支援のための情報発信、情報入手の場(拠点)の整備

・支援制度利用者数

新規

20 人

到達点の達成状況
(数値目標)

観光施設入込客数

H26:93 万人 →H27:100.3 万人 →H31:100 万人以上

〈第1回策定委員会イメージ〉

平成 27 年度取り組み状況

課題等

- 1)6次産業化による地産地商の徹底
- ① 地産地商の拠点(直売所)の機能拡充

・主力商品の定着・充実を図る。

・地場産品を活かした加工品開発・販売を行い、集客及び売上の増加につなげる。
- ② 地域内での創意工夫によるコミュニティビジネスの支援

・集落活動センターと高知大学協働学部の学生との連携により、みかんジャムとタンポポ茶の開発を行っている。現在、販売可能なみかんジャムは手作りのため、人手に加えて作れる時期に限られることから、製造量が増やせず販路拡大、収益につながっていない。
- 2)観光拠点形成とネットワーク構築
- ① 資源の再発見(価値化・付加価値化)

・H27 年度に三宝山観光拠点化基本構想磨き上げ検討委員会にて、磨き上げの構想が完成したが、シャトー三宝の活用について具体的な検討ができていない。今後は、運営主体となる企業との協議やシャトー三宝の耐震診断等を実施していく。
- ② 観光・交流の場づくり(地域住民参加)

・引き続きイベントを開催し、地域住民の参加及び交流人口の拡大につなげる。
- ③観光旅行会社(企画)とのタイアップによる複数観光ルートの構築

・地域素材を使った旅行商品の開発及びエージェントに対するプロモーション活動を行い、交流人口の増加を図る。
- ④ 物部川流域 3 市での観光振興

・6 月 30 日に、観光資源を活用した地域の交流促進及び観光経済の拡大を目的として、物部川流域に関連する地方公共団体、地域公益団体、事業者、金融機関及び教育機関等で組織する「物部川 DMO 協議会」が設立された。オール物部川体制で広域周遊観光の促進を図る。
- 3)産業人材の育成・確保
- ① 雇用支援、企業支援のための情報発信、情報入手の場(拠点)の整備

・産業人材の育成及び奨学金返還金助成について、分野別部会で出された意見や要望が具現化された。

・補助制度を広く周知し、活用していただく

〈第2回策定委員会イメージ〉

平成 28 年度取り組み状況、今後の取り組み（予定）

施策の追加等

- 1)6次産業化による地産地商の徹底
- ① 地産地商の拠点(直売所)の機能拡充

② 地域内での創意工夫によるコミュニティビジネスの支援
- 施策の追加等
- 2)観光拠点形成とネットワーク構築
- ① 資源の再発見(価値化・付加価値化)

② 観光・交流の場づくり(地域住民参加)

③ 観光旅行会社(企画)とのタイアップによる複数観光ルートの構築

④ 物部川流域 3 市での観光振興
- 施策の追加等
- 3)産業人材の育成・確保
- ① 雇用支援、企業支援のための情報発信、情報入手の場(拠点)の整備

施策の追加等

3)産業人材の育成・確保

- ① 雇用支援、企業支援のための情報発信、情報入手の場(拠点)の整備

施策の追加等

〈第3回策定委員会イメージ〉

平成 29 年度に向けた取り組み

施策の追加等

課 題

【直近の成果（アウトカム等）】

(数値目標)
観光施設入込客数 H27:100.3 万人→H28: 億円

【数値目標（平成 31 年度末）】

観光施設入込客数 H26:93 万人→H31:100 万人

※基本目標における数値目標は、各施策の KPI が達成されることによって実現されるアウトカム目標であるため、数値目標と KPI は基本的に同一ではない。

【実現見込み】

基本目標 2：新しい人の流れをつくる	基本的方向：（１）移住のためのしくみづくり	数値目標：人口の社会増減 H26：社会減→H31：社会増 120 人以上 県外からの移住者 H26：3 組→H31：年間 20 組以上
--------------------	-----------------------	---

【概要・目的】

○情報発信や移住相談を推進します。

○若者の出会いの機会や情報交換ができる場づくりや交流事業を支援します。

○地域内で経済の好循環を生み出す取組みを推進します。

○県と連携した取組みを推進し、また「移住フェア」などを活用して移住の促進を図ります。

＜第 1 回策定委員会イメージ＞

平成 27 年度の取り組みの成果等

成 果 （KPI の数値化）

1）移住・定住促進のためのしくみづくり

*（H26 現状維持）

*累計 H27～H31

H27 実績

H31 年度

① 「香南市を知って、好きになってもらう」魅力、多様な情報の発信・移住促進ホームページのアクセス回数

新規

2, 000 回

② 若年層の交流・情報交換やイベント開催

・若年層交流会参加者人数

新規

60 人

③ 産官学連携、人材育成による暮らしと産業が調和した自立地域への支援

・集落活動センター設置数

*1 箇所

2 箇所

④ 移住促進

・空き家登録数

新規

10 棟

到達点の達成状況

（数値目標）

人口の社会増減

H26：社会減 →H27：社会増 2 人→ H31：社会増 120 人以上

県外からの移住者

H26：3 組 →H27：年間 1 組 →H31：年間 20 組以上

＜第 1 回策定委員会イメージ＞

平成 27 年度取り組み状況

課題等

1）移住・定住促進のためのしくみづくり

⑤ 「香南市を知って、好きになってもらう」魅力、多様な情報の発信

・H28 年度よりモデル地域を対象とした「ウエルカム移住・定住促進事業」を実施するにあたり、香南市の情報を収集し発信できるよう HP 作成を行う。

⑥ 若年層の交流・情報交換やイベント開催

・H28 年度より「恋い・めぐりあい応援事業」及び「ウエルカム移住・定住促進事業」を実施。イベント支援のための手法や香南市の魅力を伝え、住みたいと思える「移住フェア」の内容にすることが課題。

⑦ 産官学連携、人材育成による暮らしと産業が調和した自立地域への支援

・西川集落活動センター推進協議会と高知大学協働学部との連携により、みかんジャムの商品開発を行っているが、人材不足等により生産量が限られ地域の自立につながる収益が得られない。販路拡大に至らないのが現状である。

⑧ 移住促進

・H28 年度よりモデル地域の空き家を活用した「ウエルカム移住・定住促進事業」を実施する。モデル地域以外からも空き家情報がよせられており、今年度中にホームページでの空き家情報の紹介を行う。

＜第 3 回策定委員会イメージ＞

平成 28 年度取り組み状況確認

取り組み状況

課 題

＜第 2 回策定委員会イメージ＞

平成 28 年度取り組み状況、今後の取り組み（予定）

施策の追加等

1）移住・定住促進のためのしくみづくり

① 「香南市を知って、好きになってもらう」魅力、多様な情報の発信

② 若年層の交流・情報交換やイベント開催

③ 産官学連携、人材育成による暮らしと産業が調和した自立地域への支援

④ 移住促進

施策の追加等

＜第 3 回策定委員会イメージ＞

平成 29 年度に向けた取り組み

施策の追加等

課 題

【数値目標（平成 31 年度末）】

人口の社会増減 H26：社会減→H31：社会増 120 人以上

県外からの移住者 H26：3 組→H31：年間 20 組以上

※基本目標における数値目標は、各施策の KPI が達成されることによって実現されるアウトカム目標であるため、数値目標と KPI は基本的に同一ではない。

【直近の成果（アウトカム等）】

（数値目標）

人口の社会増減 H27：社会増 2 人 →H28：社会増 人

県外からの移住者 H27： 1 組 →H28：年間 組

【実現見込み】

.

基本目標 3：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	基本的方向：（１）人生をトータルでサポートする体制づくり （２）子ども、子育て支援・環境の充実支援	数値目標：婚姻件数（人口動態調査）H26：144 件→H31：154 件 合計特殊出生率（住民基本台帳） H26：1.44→H31：1.60
-------------------------------	--	---

【概要・目的】 ○香南市人生支援計画に基づき、若者の出会いの場づくりや子どもを安心して生み育てられる環境づくりなど、市民の人生をトータルでサポートする行政の体制づくりを目指します。
○家庭・地域・学校の連携・協働を進めることで子どもから高齢者まで様々な人が参加・交流し、地域を活性化させ、子育てを中心とした地域社会のつながりの再生を促進します。安心して結婚・出産・子育てができる環境を整備します。

＜第 1 回策定委員会イメージ＞

平成 27 年度取り組みの成果等

成 果（KPI の数値化）

1）人生をトータルでサポートする体制づくり			
	＊(H26 現状維持)	＊累計 H27～H31	
	H27 実績	H31 年度	
① ライフステージに応じた切れ目のない支援 ・人生支援計画についての相談件数	新規	20 件	
※地方創生先行型交付金指標			
・ウォーキング大会参加者	指標値	250 人	実績値 159 人
② 若者の出会いの場づくり ・出会いの場の開催回数	新規	3 回	
2）子ども、子育て支援・環境の充実支援			
① 子育てを支援する地域の育成 ・学校支援地域本部設置数	＊4 校	8 校	
② 子育て施策の充実 ・乳児家庭訪問回数	281 回	345 回	
・地域子育て支援センター利用者数	4,811 人	7,000 人	
・市のホームページ(子育て情報サイト)のアクセス回数	新規	6,000 回	
※地方創生先行型交付金指標			
・子育て教室開催	指標値	4 回	実績値 1 回
・子育て教室参加者	指標値	200 人	実績値 20 人
③ 多様な保育事業・放課後児童クラブの拡充 ・保育所の預かり数(子どもの一時預かり)	1,001 人	838 人	
・児童クラブの利用者数	336 人	385 人	

到達点の達成状況

(数値目標)

婚姻件数(人口動態調査) H26：144 件→H27：142 件 →H31：154 件
合計特殊出生率(住民基本台帳) H26：1.44 →H27：1.48 →H31：1.60

【数値目標（平成 31 年度末）】

婚姻件数(人口動態調査) H26：144 件→H31：154 件
合計特殊出生率(住民基本台帳) H26：1.44 →H31：1.60
※基本目標における数値目標は、各施策の KPI が達成されることによって実現されるアウトカム目標であるため、数値目標と KPI は基本的に同一ではない。

＜第 1 回策定委員会イメージ＞

平成 27 年度取り組み状況

課題等

1）人生をトータルでサポートする体制づくり	
① ライフステージに応じた切れ目のない支援 ・人生支援計画の基本的な方向性などを整理し、人生支援計画を昨年度策定しました。現在できあがった計画書は広報や HP で周知を行っているところです。課題としては、各課がそれぞれの個別事業の中で相談を受け P D C A サイクルで運営していくものなので、相談件数の把握が捉えにくい。	
② 若者の出会いの場づくり ・H28 年度からの新規事業。カップリング後に結婚につながったかどうかの把握が難しい。また、香南市で住んでもらえるのか分からない。	
2）子ども、子育て支援・環境の充実支援	
① 子育てを支援する地域の育成 ・各学校の PTA 活動の状況や学校支援地域本部事業の実施の有無によって、地域間の格差が生じている。	
② 子育て施策の充実 ・こんにちは赤ちゃん訪問率は上昇し高く推移しているが、維持できていくように図る。また、退院後、1 カ月健診までにしんどさを抱える産婦も多いことが予想されるため、赤ちゃん訪問の時期が適切かどうか、把握していく必要がある。 ・すべて保育所及び幼稚園内の施設で行っているため、子育て支援センターのスケジュールが園行事に影響される場合がある。各子育て支援センターの利用状況にばらつきがある。子どもの特性や母親の育児不安など子育て家庭が抱えている課題が多岐にわたり深刻化している。 ・ホームページやメール配信が有効に活用されること。	
③ 多様な保育事業・放課後児童クラブの拡充 ・事業利用者は毎年増加傾向であり、子育てがしやすい環境を整えるため今後も引き続き必要な事業である ・野市町地区 3 小学校区のニーズが高いこと、子ども子育て支援新制度の施行による小学校 6 年生までの受入拡大により、受入可能な施設整備が必要である。	

＜第 3 回策定委員会イメージ＞

平成 28 年度取り組み状況確認

取り組み状況

(数値目標)

婚姻件数(人口動態調査) H27：142 件→H28： 件
合計特殊出生率(住民基本台帳) H27：1.48 →H28： 件

【直近の成果（アウトカム等）】

＜第 2 回策定委員会イメージ＞

平成 28 年度取り組み状況、今後の取り組み（予定）

1）人生をトータルでサポートする体制づくり

- ① ライフステージに応じた切れ目のない支援
- ② 若者の出会いの場づくり

施策の追加等

2）子ども、子育て支援・環境の充実支援

- ① 子育てを支援する地域の育成
- ② 子育て施策の充実
- ③ 多様な保育事業・放課後児童クラブの拡充

施策の追加等

＜第 3 回策定委員会イメージ＞

平成 29 年度に向けた取り組み

施策の追加等

課 題

【実現見込み】

基本目標 4：時代に合った地域をつくり、地域の連携により安心なくらしをまもる

基本的方向：（１）協働のまちづくり推進
（２）災害に強いまちづくり

数値目標：自治会協議会結成率
H26：①協議会 47%②自治会 61%→H31：①100%②100%
自主防災組織結成率 H26：89%→H31：100%

【概要・目的】 ○地域コミュニティの維持や活性化を促進する、地域の仕組みづくりを支援していきます。
○診断士を派遣し診断、耐震化のための工事費に対する補助金など、個人住宅の耐震化を促進するとともに、各地域の防災体制づくりのリーダー育成の研修など、地域の自主防災組織づくりへの支援、災害時の地域の支え合い体制の強化を図ります。

＜第 1 回策定委員会イメージ＞

平成 27 年度の取り組みの成果等

成 果（KPI の数値化）

1）協働のまちづくり推進	＊(H26 現状維持) H27 実績	＊累計 H27～H31 H31 年度
① 住民との情報交換 ・地区懇談会開催回数	開催 (18 箇所/915 人)	毎年開催の継続
② 地域活動の支援体制強化 ・組織の設立数	①協議会 10 組織 ②自治会 79 組織	19 組織 98 組織

※地方創生先行型交付金指標

・協議会数	指標値	12 カ所	実績値	10 カ所
-------	-----	-------	-----	-------

2)災害に強いまちづくり

① 耐震化の促進、災害時備蓄品整備の充実 ・耐震診断件数 ・備蓄率	113 件 61%	500 件 85%
② 自主防災組織の設立・活性化 ・リーダー育成研修の参加組織数	13 組織	53 組織
③ 災害時における地域の支え合いづくり ・香南市災害時要配慮者避難支援プラン （個別計画）作成件数	0 件	100%
④ 消防・防災対策の強化 ・香南市総合防災訓練参加者数	4, 844 人	7, 500 人

到達点の達成状況

（数値目標）

自治会協議会結成率
H26：①協議会 47%②自治会 61%→H27：① 53%② 81%
→H31：① 100% ②100%
自主防災組織結成率 H26：89%→H27：89%→H31：100%

【数値目標（平成 31 年度末）】

自治会協議会結成率 H26：①協議会 47%②自治会 61%
→H31：①100%②100%

自主防災組織結成率 H26：89%→H31：100%

※基本目標における数値目標は、各施策の KPI が達成されることによって実現されるアウトカム目標であるため、数値目標と KPI は基本的に同一ではない。

＜第 1 回策定委員会イメージ＞

平成 27 年度取り組み状況

課題等

1)協働のまちづくり推進

- ① 住民との情報交換
・平成 26 年度（17 か所／886 人）から比べると、開催場所を増やしたことにより参加人数も若干増えているが、参加者の固定化が見られる。年代別やターゲット等、さらに多くの住民が参加しやすい開催方法の工夫が必要である。
- ② 地域活動の支援体制強化
・未設立地区は主に野市町であるが、現在の町内会組織で不都合な方が多く、まちづくりの必要性が高まっていない。
・自治会行事のマンネリ化や役員等の高齢化が自治会の課題としてあるが、有効な対応策が乏しい。

2)災害に強いまちづくり

- ① 耐震化の促進、災害時備蓄品整備の充実
・概ね順調に耐震診断件数は推移しているが、啓発 P R 等努めなければならない。
・備蓄倉庫の確保が必要である。また、備蓄数量、品目の拡充も検討しなければならない。
- ② 自主防災組織の設立・活性化
・高齢化による組織の弱体化が危惧される。
- ③ 災害時における地域の支え合いづくり
・災害時要配慮者支援プランの理解を深めると共に、支援者の確保が重要となる。
- ④ 消防・防災対策の強化
・住民の意識改革及び防災意識の高揚が必要である。
「自助」「共助」の重要性についての理解を深め、訓練のマンネリ化を改善し、訓練参加者の増加を図る。

＜第 3 回策定委員会イメージ＞

平成 28 年度取り組み状況確認

取り組み状況

課 題

【直近の成果（アウトカム等）】

（数値目標）
自治会協議会結成率 H27：①協議会 53%②自治会 81%
→H28：① %② %
自主防災組織結成率 H27：89%→H28： %

＜第 2 回策定委員会イメージ＞

平成 28 年度取り組み状況、今後の取り組み（予定）

1)協働のまちづくり推進

- ③ 住民との情報交換
④ 地域活動の支援体制強化

施策の追加等

2)災害に強いまちづくり

- ① 耐震化の促進、災害時備蓄品整備の充実
② 自主防災組織の設立・活性化
③ 災害時における地域の支え合いづくり
④ 消防・防災対策の強化

施策の追加等

＜第 3 回策定委員会イメージ＞

平成 29 年度に向けた取り組み

施策の追加等

課 題

【実現見込み】

基本目標 4：時代に合った地域をつくり、地域の連携による安心なくらしをまもる

基本的方向：（３）交流人口拡大
（４）大学との連携

数値目標：自治会協議会結成率
H26:①協議会 47%②自治会 61%→H31:①100%②100%
自主防災組織結成率 H26:89%→H31:100%

【概要・目的】 ○地域と協働し、活動拠点としての集落活動センターの運営体制や組織の強化を図ります。また、歴史・食・体験などの地域資源活用など、交流人口の拡大のための拠点づくりや強化を進めます。
○香南市の中山間地域の再生と持続可能な地域の構築に向けて、地域の活性化と振興に寄与する事業推進のため大学と連携し、多様な分野で事業に取り組みます。

＜第 1 回策定委員会イメージ＞

平成 27 年度取り組みの成果等

成 果（KPI の数値化）	* (H26 現状維持) H27 実績	*累計 H27～H31 H31 年度
---------------	------------------------	-----------------------

3) 交流人口拡大

- | | | |
|-------------------------------------|--------------|------|
| ⑥ 集落活動センター(小さな拠点整備)
・集落活動センター設置数 | *1 箇所 | 2 箇所 |
| ⑦ 地域団体の活動促進、支援充実
・地域活動団体の育成数 | 2 団体 | 3 団体 |

- | | | |
|--|-------------------|------------|
| ⑧ 歴史・食・体験等による交流人口の拡大
・観光客入込数
地域 AP「広域観光の取組の推進」
【対象施設】
アクトランド・のいち動物公園、サイクリングターミナル（宿泊以外）、月見山こどもの森、龍河洞、アンパンマンミュージアム、西島園芸団地、歴史民俗資料館、羽尾大釜荘、体験観光 | 720, 160 人 | 800, 000 人 |
|--|-------------------|------------|

4) 大学との連携

- | | | |
|----------------------|------------------------------|-------|
| ① 大学との連携
・学生の参加回数 | 15 回
(延べ 168 人参加) | 150 回 |
|----------------------|------------------------------|-------|

到達点の達成状況

（数値目標）

自治会協議会結成率
H26:①協議会 47%②自治会 61%→**H27:①協議会 53%②自治会 81%**
→H31:①協議会 100%②自治会 100%

自主防災組織結成率 H26:89%→**H27:89%**→H31:100%

【数値目標（平成 31 年度末）】

自治会協議会結成率 H26:①協議会 47%②自治会 61%
→H31:①100%②100%

自主防災組織結成率 H26:89%→H31:100%

※基本目標における数値目標は、各施策の KPI が達成されることによって実現されるアウトカム目標であるため、数値目標と KPI は基本的に同一ではない。

＜第 1 回策定委員会イメージ＞

平成 27 年度取り組み状況

課題等

3) 交流人口拡大

- ① 集落活動センター(小さな拠点整備)
・**西川集落活動センターにおいては、次代の担い手、育成に至っておらず人材不足となっている。また、新たな集落活動センターの立ち上げに向けて、地元で説明を行っていく。**
- ② 地域団体の活動促進、支援充実
・**合併後創設した補助金で、1 団体 1 回助成のため、年々申請件数が減少している傾向にある。今度、継続している団体には 2 回目の助成が必要であるか調査し、この補助金のあり方を協議したい。**

- ③ 歴史・食・体験等による交流人口の拡大
・**地域の観光資源の一層の発掘・磨き上げによるさらなる誘客促進**

4) 大学との連携

- ① 大学との連携
・**連携にあたり中山間地域が、自分たちの目的や目標を持ち、実行にうつせるようになることが課題。また、大学も地域から学んでいることをフィードバックし、ともにステップアップしていくことが必要である。**

＜第 3 回策定委員会イメージ＞

平成 28 年度取り組み状況確認

取り組み状況

課 題

【直近の成果（アウトカム等）】

（数値目標）
自治会協議会結成率 H27:①協議会 53%②自治会 81%
→H28:① %② %
自主防災組織結成率 H27:89%→H28: %

＜第 2 回策定委員会イメージ＞

平成 28 年度取り組み状況、今後の取り組み（予定）

3) 交流人口拡大

- ① 集落活動センター(小さな拠点整備)
- ② 地域団体の活動促進、支援充実
- ③ 歴史・食・体験等による交流人口の拡大

施策の追加等

4) 大学との連携

- ① 大学との連携

施策の追加等

＜第 3 回策定委員会イメージ＞

平成 29 年度に向けた取り組み

施策の追加等

課 題

【実現見込み】

香南市 まち・ひと・しごと創生総合戦略の具体的な施策例 PICKUP

資料3

香南市
2016年の
pickup

期待される効果

産業人材のスキルアップ及び企業の発展、さらには市全体の産業振興につながる。



【基本目標1】魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する

★産業の振興

香南市産業振興計画に位置づけられた、重点事業を継続して行います。

また、農業後継者の増加を図るための農業後継者推進事業や産業人材の育成・確保を図るための支援事業を行います。

【事業の一例】

- ・香南工業団地企業立地促進事業
- ・農業後継者推進事業
- ・産業人材育成事業
- ・未来人材育成奨学金支援事業
- ・サイクリング推進環境整備事業

香南市
2016年の
pickup

期待される効果

【基本目標2】新しい人の流れをつくる

★移住促進

移住にまず必要なものは「家」です。そこで市では移住のために貸し出せる空き家を募集します。しかも修繕や管理、移住希望者の選定、契約はすべて市が行います。空き家をお持ちの方はぜひご協力ください。(モデル地区内に限ります)

移住促進モデル地区 一まずは空き家を貸してください＝

○香我美町西川地区○香我美町東川地区○夜須町北部地区

【事業の一例】

- ・香南市ウエルカム移住・定住促進事業

【基本目標3】若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

★人生支援

子育て中の家庭を支援するためのファミリー・サポート・センター事業や、妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談支援を行うための地域子ども子育て支援事業、少子化対策の一環として出会いの場を提供する香南市恋い・めぐりあい応援事業を実施します。

また、教育の推進を図るため放課後児童クラブ施設整備事業などを行います。

【事業の一例】

- ・放課後児童クラブ施設整備事業
- ・ファミリー・サポート・センター事業
- ・地域子ども・子育て支援事業
- ・香南市恋い・めぐりあい応援事業

【基本目標4】時代に合った地域をつくり、地域の連携により安心な暮らしをまもる

★住民自治の確立

まちづくり協議会や自治会の設立及び活動支援を積極的に推進するための支援や、地域活動の拠点づくりのための集落活動センター推進事業などを行います。

【事業の一例】

- ・地域活性化総合補助事業
- ・集落支援センター推進事業
- ・大学との連携事業

◆産業人材育成事業

市内に事業所がある事業者等を対象に公的団体が主催する研修を受講する際に補助率1/2以内、1事業所あたり年間200千円を上限として補助します。

- | | |
|----------|-------------------------------------|
| (対象者) | ○市内に事業所を有する事業主及び従業員等 |
| (補助対象経費) | ○公的団体が実施する研修にかかる旅費・受講料・テキスト代等 |
| (補助率) | ○補助対象経費の2分の1 (ただし、1事業所あたり上限200千円/年) |
| (交付申請) | ○研修会等の開催期日前までに関係書類を添えて提出 |
| (補助金支払) | ○実績報告書に関係書類を添えて提出後、補助金を支払 |

◆未来人材育成奨学金支援事業

大学等を卒業後香南市に住所を置き、市内の事業所に従事する者を対象に卒業後、就学期間に応じ(最長8年)、補助率1/2以内で奨学金返還金額を助成します。

- | | |
|-------|--|
| (対象者) | ○日本学生支援機構等の奨学金(無利子及び有利子)の貸与を受けている者 |
| (要件) | ○市内の事業所(製造業)に従事する者
○大学等卒業後、市内に住所を有する者 |
| (支給額) | ○卒業後4～8年間、市内企業への就業継続及び市内在住を確認し、支給対象者が日本学生支援機構等へ返還した額を補助率1/2以内で支給 |

- ・将来の企業の中心を担う人材を確保できる。
- ・制度を早期にPRすることで、市での就職を検討している学生にとっては、市で働くことやUターンへの動機づけとなる。
- ・就業の継続を要件とすることで、早期離職を防ぎ、市内企業への定着率を高めることにつながる。
- ・市内在住を要件とすることで、市への定住促進につながる。



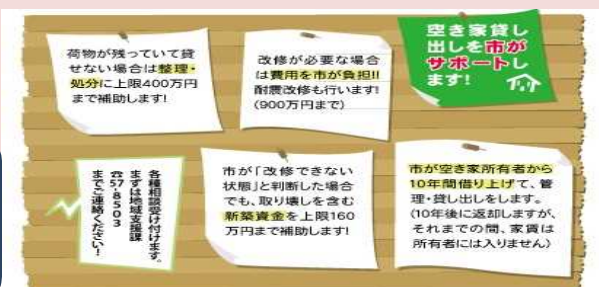
大学生等、香南市内の企業等を担う人材を確保し、市内企業への就職を促進、市への定住促進につながる。

◆香南市ウエルカム移住・定住促進事業 中山間地域の人口対策として移住者を呼び込もう！



【例えば】…子どもたちの声が地域から消えた。高齢者ばかりで…といった地域の声があります。そこで、特に少子高齢化の進んだ中山間地域での対策を考えます。
★H28年度から香我美町西川、東川、夜須町北部地区(添地以北)をモデル地域として、空き家調査を行い、空き家を活用した移住者の受け入れを開始します。

モデル地区で、移住者の方に住んでいただける空き家を探しています。
持ち主の方は、地域支援課までご連絡ください。



◆香南市恋い・めぐりあい応援事業

香南市は、少子化の一因である晩婚化及び未婚化の対策のため、婚活イベントなどを開催して頂ける個人・団体に10万円を限度に補助制度を設けて応援します。

(補助対象要件)

1. 20歳以上の男女を対象。
2. 公募は10人以上で募集し、開催の最小参加人数は4人以上。ただし事業の参加者の1/3以上が香南市に在住又は、勤務する者であること。
3. 礼儀作法・マナーの体得を目的としてセミナーもOK
4. 開催の3ヵ月以上前にご連絡を。申請手続きは内容を確認してからになります。



例えば…
・シーカヤックとBBQで出会いイベント
・出会いのランチ料理教室でランチメニューを作ろう

◆ファミリー・サポート・センター事業

仕事と育児の両立を支援し、安心して子育てができるような環境づくりを進めるため、ファミリー・サポート・センターを設立します。
この事業により、子育てでの支援を受けたい方と子育てを支援したい方にファミリー・サポート・センターに会員登録をいただき、急な用事や仕事の時など、保育所への送迎やその後の預かり、児童クラブ終了後の預かりなど支援が必要な場合に安心して利用していただけるよう、会員相互の調整などを行い、地域で子育てを支援していく仕組みづくりを進めていきたいと考えます。お互いに助け合う会員制の有償ボランティア組織です。

◆高知大学出前公開講座事業

【まち・ひと・しごとの観点のもと、未来に向けた地域のあり方を考える】
地方創生の流れを加速的に推進していくためには、行政だけでなく市民の皆さんの理解が必要であります。
「まち・ひと・しごと」の観点のもと、未来に向けた産業や地域のあり方などを考えるきっかけとなる全5回の連続講座を開催します。

香南市の将来についてみんなで考えてみよう！
産業振興、子育て、地域づくり…etc



◆開講予定

- ・第1講座：9月7日(水)・第2講座：9月14日(水)・第3講座：9月21日(水)・第4講座：9月28日(水)・第5講座：10月5日(水)
- ◆場所 のいちふれあいセンター2階研修室
- ◆時間 19:00～20:30

受講料
無料